

授業科目	生物学1	1 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	佐々木泰史 (教育研究施設 8F 生物学教授室) e-mail : yasushi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(井戸川雅史)		
概要	<p>教養科目としての生物学は、医学、および保健医療学を学ぶための知識基盤として極めて重要である。1 学年前期「生物学1」と1 学年後期「生物学2」では、保健医療学部生が、備えておくべき生物学の教養を網羅する。医学系の専門基礎科目で学ぶこと、あるいは学んだことについて理解を深めることで、生涯学習者としての医療人の学習基盤をつくる。「生物学1」では、生物学の分野のうち、分子生物学、基礎遺伝学を中心とし、医学、医療に直接関連する内容を多くした。今後推進されつつあるゲノム医療についても理解を深める。当大学で積極的に研究が行われているバイオインフォマティクスに関しては、医学部教員が講義を担当する。第1、2 回目の講義では、入試で生物を受験しなかった学生に対するリメディアル科目としての役割も担う。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物の全体像について、生物の定義を含め説明できる。 2. 細胞の構造と機能について分子生物学的に説明できる。 3. さまざまな生物の生きるしくみを説明できる。 4. 医学、医療における生物学の役割を説明できる。 		
関連科目	生物学2、自然科学実験		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	定期試験	70%	毎回の講義で小テストを行う。小テストの配分が大きいので、欠席しないように注意すること。
	小テスト	30%	
教科書	①田村隆明 [2016 年] 「医療・看護系のための生物学(改訂版)」 裳華房		
参考書	①Bruce Alberts 他 [2016 年] 「Essential 細胞生物学」 南江堂		
履修上の留意点	成績に占める小テストの配点が高いので、欠席しないよう心掛けて下さい。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	生物の概要	事前：教科書による予習 事後：配付資料による復習、HP の習熟度自己確認テスト	講義	佐々木
2	生物を構成する物質	事前：教科書による予習 事後：配付資料による復習、HP の習熟度自己確認テスト	〃	〃
3	ヒトと病原体	事前：教科書による予習 事後：配付資料による復習、HP の習熟度自己確認テスト	〃	〃
4	遺伝子のはたらき	事前：教科書による予習 事後：配付資料による復習、HP の習熟度自己確認テスト	〃	〃
5	遺伝と疾患	事前：教科書による予習 事後：配付資料による復習、HP の習熟度自己確認テスト	〃	〃

6	がんと老化	事前：教科書による予習 事後：配付資料による復習、HP の習熟度自己確認テスト	〃	〃
7	ゲノム医療	事前：教科書による予習 事後：配付資料による復習、HP の習熟度自己確認テスト	〃	〃
8	生命科学と情報科学(バイオインフォマティクス)	事前：教科書による予習 事後：配付資料による復習	講義	(井戸川)